

本院で子宮平滑筋肉腫の治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

平成12年1月から平成24年3月までに子宮平滑筋肉腫と診断をされた方の経過についての調査です。

研究の目的について

子宮平滑筋肉腫の診療実態に関する調査研究

対象

2000年1月から2012年3月までに摘出子宮にて組織学的に子宮平滑筋肉腫と診断された初回治療患者。同時期に他院で初回治療がなされ、組織学的診断が子宮平滑筋肉腫と確認されている症例。

使用させていただくカルテ内容、組織標本について

本院におきまして、患者さんの診療記録、検査記録をさかのぼって調べさせていただきます。

また、病理標本のスライドを提出し、病理組織学的診断を改めて行います。

なお患者さんの診療記録（カルテ）や病理標本を使用させていただきますことは本学医学部倫理委員会において外部委員も交えて厳正に審査され承認された後に行います。

また、患者さんの診療情報は、国の定めた「臨床研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。

当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

患者さんの費用負担等について

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。

また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

研究資金

基本的に当院で負担する事項は発生しませんが、起こりえる場合は産科婦人科学講座の寄付金にて負担します。

利益相反について

この研究は、公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。

「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間接的な関係を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）」は発生しません。

研究の参加等について

本研究にご自身の経過を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。

その場合は、患者さんの情報は研究対象から除外いたします。

また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。

なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出下さい。

研究責任者

879-5593 大分県由布市挾間町医大ヶ丘 1-1

大分大学医学部産科婦人科学講座 平川 東望子

電話番号 097-549-4411